

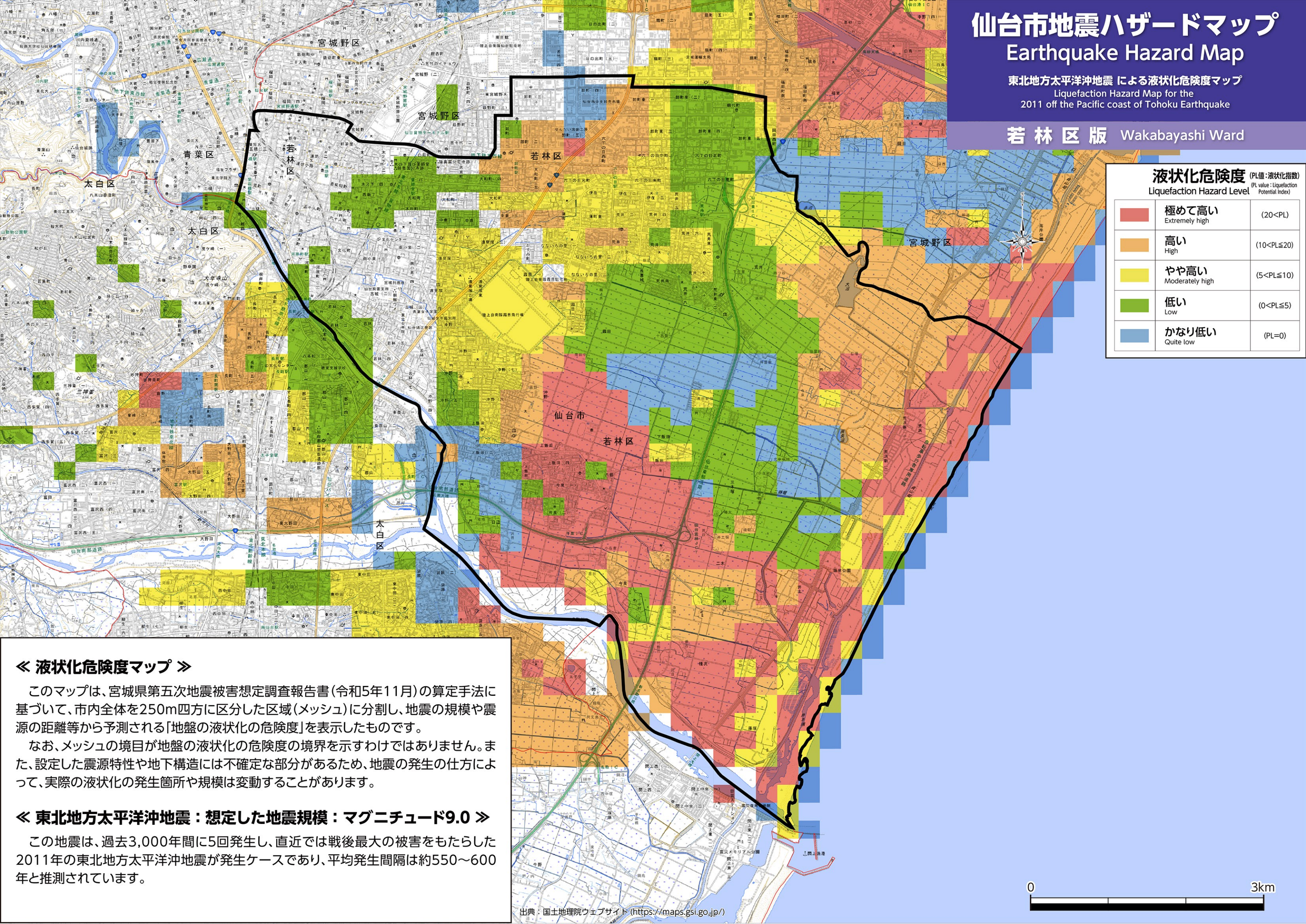
仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map

東北地方太平洋沖地震 による液状化危険度マップ
Liquefaction Hazard Map for the
2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake

若林区版 Wakabayashi Ward

液状化危険度 (PL値: 液状化指数)
Liquefaction Hazard Level (PL value: Liquefaction Potential Index)

	極めて高い Extremely high	(20<PL)
	高い High	(10<PL≤20)
	やや高い Moderately high	(5<PL≤10)
	低い Low	(0<PL≤5)
	かなり低い Quite low	(PL=0)



《 液状化危険度マップ 》

このマップは、宮城県第五次地震被害想定調査報告書(令和5年11月)の算定手法に基づいて、市内全体を250m四方に区分した区域(メッシュ)に分割し、地震の規模や震源の距離等から予測される「地盤の液状化の危険度」を表示したものです。

なお、メッシュの境目が地盤の液状化の危険度の境界を示すわけではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生の方によって、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

《 東北地方太平洋沖地震：想定した地震規模：マグニチュード9.0 》

この地震は、過去3,000年間に5回発生し、直近では戦後最大の被害をもたらした2011年の東北地方太平洋沖地震が発生ケースであり、平均発生間隔は約550～600年と推測されています。